

令和元年度卓越した技能者 (現代の名工)を決定しました

「いこみこう 鑄込工の近藤 こんどう 幸男氏をはじめ150人を
11月11日に表彰」

卓越した技能者の表彰制度とは

昭和42年に創設した「卓越した技能者の表彰制度」は、卓越した技能を持ち、その道で第一人者と目されている技能者を表彰するものです。

この制度は、技能の世界で活躍す

る職人や技能の世界を志す若者に目標を示し、技能者の地位と技能水準の向上を図ること、また、技能者の模範として、将来を担う優秀な技能者の確保・育成を進め、優れた技能を次世代に継承していくことを目的としています。創設以来、令和元年



被表彰者に表彰状を送る自見厚生労働政務官



祝辞を贈る自見厚生労働大臣政務官



被表彰者代表より謝辞を受ける定塚人材開発統括官

度までに、6、496名の方が表彰されています。

自見厚生労働政務官より 表彰状授与

厚生労働省では、令和元年度の卓越した技能者(通称「現代の名工」)の表彰対象者に鑄込工として伝統的な工芸品「東京アンチモニー工芸品」などの貴金属製品を「戻し吹き」技法で鑄造することに卓越した技能を持つ近藤幸男氏をはじめ150名を決定し、11月11日(月)に東京都新宿区のリーガロイヤルホテル東京で表彰式を行いました。

この式典に出席した自見厚生労働大臣政務官より

◆平成30年度 代表的な技能者について

第1部門	近藤 幸男 (鑄物工)	第11部門	田丸 雄二 (造園工等)
第2部門	幡歩 博正 (研ま盤工)	第12部門	佐藤 友昭 (石彫工)
第3部門	清川 敏男 (化学めっき工)	第13部門	遠藤 清 (木製建具製造工)
第4部門	黒崎 敦男 (産業用機械組立工)	第14部門	大江 克之 (和生菓子製造工)
第5部門	伊藤 正博 (プリント基盤組立工)	第15部門	山中 恵美子 (美容師)
第6部門	波柴 主計 (自動車板金工)	第16部門	近藤 文夫 (天ぷら料理人)
第7部門	山崎 昌二 (織布工)	第17部門	小野 昭夫 (家具類内張工)
第8部門	小寫 美恵子 (婦人・子供服注文仕立職)	第18部門	高橋 良八 (広告美術工)
第9部門	川島 一男 (建築とび工)	第19部門	武藏川 義則 (漆器加飾工)
第10部門	室井 満昭 (左官)	第20部門	早藤 博文 (クリーニング工)

※ 職業部門、氏名(敬称略)及び職種を記載。

働大臣政務官は、「現代の名工と
 られた皆さまの今後のご活躍は、
 将来を担う若者にものご活躍は、
 道への第一歩を踏み出させ、若年技
 能者自らが技能向上に取り組み契機
 となるものです。今後とも、皆さま
 がその卓越した技能と指導力をもつ
 て、広く技能者の模範として、後進
 の育成に一層積極的に当たっていただ
 きますことを期待しています」と
 挨拶しました。

詳しくは、厚生労働省HPの以下をご覧ください。

◆平成30年度の被表彰者及びその技能功績について
 ホーム > 報道・広報 > 報道発表資料 > 2019年11月 > 令和元
 年度卓越した技能者（現代の名工）を決定しました
https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_07714.html

◆卓越した技能者（現代の名工）の表彰制度について
 ホーム > 政策について > 分野別の政策一覧 > 雇用・労働 > 人
 材開発 > 「卓越した技能者（現代の名工）」表彰制度のコーナ
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/jinzaikaihatsu/meikou/index.html

表彰事例

近藤 幸男氏（88歳）

鋳物工【近藤鋳造所】

◆世界に誇る「東京アンチモニー工
 芸品」の鋳造技法、「戻し吹き」
 の数少ない承継者（東京都推薦）

経済産業大臣指定の伝統的工芸
 品「東京アンチモニー工芸品（※1）」
 等の貴金属製品を、「戻し吹き」技
 法で鋳造する職人である。アンチモ
 ニー産業は、明治初期に東京の地場
 産業として技術が確立され、140

◆作業風景写真

「戻し吹き」のうち、鋳型への流し込み作業



年以上の歴史を有し、世界に類のな
 い伝統的な鋳造技法を引き継いでい
 る。

多数の鋳型を取り扱う中で培つ
 てきた経験と感覚により、各部分の
 温度差を見極めながら最終的な仕上
 がりを見想定し、絶妙なさじ加減で均
 一の厚みを保つ技能は業界からも一
 目置かれている。

◆知識と技術を活かし、アンチモ
 ニー業界の発展に大きな貢献

幼少の頃から、アンチモニー製品
 を製造する父親の背中を見て育ち、
 中学校卒業後に本格的に修行を開始
 した。

アンチモニー産業は、海外輸出に
 より戦後の日本経済を支えていた
 が、1970年の地金の急騰、19
 71年のニクソンショックに伴う急
 速な円高の影響を受け輸出が減少。

その後は国内でトロフィーやメ
 ダル製品に活路を求めると市場は
 縮小傾向であった。そのような中、
 アンチモニーと錫の両製品に精通
 した「戻し吹き」職人として、業
 界再興の一手でもある新素材「エ
 テナ（※2）」の技術開発協力を行う

◆作品写真

仏像（構造が複雑な製品についてはパーツごとに作成）



等、業界の発展を下支えした。

「自分の技術でお客様が喜ぶ顔を
 見ることが何よりも嬉しい」と語り、
 他の職人が匙を投げる複雑な鋳造依
 頼も積極的に受け入れ、技術向上に
 日々邁進している。

※1：鉛（Pb）・アンチモン（Sb）
 錫（Sn）の合金であるアンチモニー
 を原料とした鋳物製品。

※2：銀製品の光沢の色合に近づけ
 た鋳造錫合金。鉛を一切含まない
 ため、環境や健康に対する安全性
 が高い等の特性を持つ。